

第4回学校関係者評価委員会

実施日：令和6年1月23日（火）午前11時35分～

場 所：若草南小学校 校長室

参加者：学校関係者評価委員（学校評議員）・教職員

神山 栄和（藤田区自治会長） 佐藤 正敏（浅原区自治会長）

横森 晶子（主任児童委員）

後藤 啓伍（PTA会長） 小林 ゆか（PTA副会長）

小林 正彦（校長） 松田 晃一（教頭） 飯久保幸一（教務主任）

1 学校側から提案の内容

①第2回学校評価について

・後期自己評価について

②まとめ：学校評価から見られる成果や課題、ならびに改善策について

2 協議された主な内容

①授業参観後の意見交換

②学校自己評価についての全体評価について

③項目ごとの評価・達成状況・改善策について

④今後の改善策について

《学校関係者評価書》

I 全体評価

教職員自己評価の結果は、すべての質問項目において肯定的回答が多数を占めた。平均点数は、1項目を除き3.4を上回り、学校長の指導のもと、学校教育目標達成のために全職員が努めていることがわかる。

一つ一つの項目に目を向けると、明らかな有意性は見られないまでも昨年度からポイントが低くなっている項目や、プラス評価ではあるがポイントが相対的に低くなっている項目も見られる。

肯定的な回答が多い項目は、本校の強みとして、継続して取り組んでいくとともに、改善する必要のある項目については具体的な方策を立てて取り組んでいきたい。

【強みとなっている項目（平均点数が3.7以上）】

①子どもたちが、楽しく学校生活を送れるよう努めている

⑥児童理解に努め、不登校・問題行動等への予防に努めている

⑮保護者からの各種相談について、誠実に対応している

【弱みとなっている項目（平均点数が3.0以下）】

⑧校務分掌は適切に分担され、意欲的に取り組める環境にある

Ⅱ 第4回学校評議委員会の中で出された主な意見

○後期自己評価書について

- ・学校の教育方針が教員に徹底され、全員が同じベクトルで行動されている。校長先生や教頭先生のリーダーシップが発揮された結果であり、また、教員一人一人とのコミュニケーションが図られていると思います。
- ・教員アンケート結果から、しっかりと子供視点で行動が出来ていると感じられます。
- ・保護者アンケート結果からは、学校に対しての学校行事の在り方や自分たちの負担感が感じられますが、おおむね良好な状態と思われます。
- ・教員アンケート、保護者アンケートを良く分析され、学校の強み、弱みを理解して、学校運営に生かされています。
- ・PTA救急法講習会は、学校での実施でなく役員が個人的に日赤や消防署主催の講習を受講する方法も選択肢の一つ
- ・災害時や不審者対応の訓練が今以上にあった方が安心できると思います。
- ・「母女の会」の廃止を含めた見直しが必要かと思ひます。PTAは少しずつ負担が減ってきています。個人的には、今の負担程度での継続でいいと思ひます。
- ・フォームによる欠席連絡、大変便利でよいいと思ひます。
- ・PTA新聞の廃止に賛成です。
- ・集金の振り込み化に賛成です。
- ・登校時間を先生方の勤務時間に合わせて遅らせることに賛成です。
- ・あゆみ所見欄の廃止に賛成です。
- ・家庭訪問は、1年に1回または担任が変わった1学期は必要だと思ひます。しかし、日程調整や移動手段など先生方の負担があるようなら廃止もやむを得ない。まずは、先生方の労働環境の改善が最優先だと思ひます。
- ・個別懇談は、必要な保護者のみにしてはどうか。

○その他

- ・峡西CATV放送の「音楽会」を偶然鑑賞しましたが、学校に観に来られなかった人のために、放送日などを「若南プライド」等で宣伝してください。
- ・学校行事を平日にすることには、社会の流れから、賛成です。保護者には、きめ細かい説明が必要です。
- ・多様性の中で、連絡網などの課題を考えてください。
- ・「能登半島地震」を受けて、学校・地域自治体の連携の在り方を考える良い機会と捉えます。日程を調整し、防災備蓄品を学校に運搬し、保管願ひたい。
- ・自己評価から、教師が多忙であることが伺える。
- ・元々、学習指導以外のことで忙しかったものが、コロナで中断していた行事がいったん再開し、より多忙感があると思ひます。これを機会に見直すことでいいと思ひます。
- ・コミュニティスクールと地域学校協働活動の仕組みについて、地域社会へ広くPRが必要。
- ・すでに行われている植木の手入れや教材ボランティア等の学校への様々なサポーターを増やしていく。学校新聞やたより等を使い、自治会やPTAへ募集をしていく。
- ・先生方の時間外労働をなくすことを一番望んでいひます。先生方の負担がとにかく大きいと感じます。
- ・学校開放日で、休み時間のようにすが見られてよかったです。

Ⅲ 達成状況と改善策について

各アンケートの結果から、校長の学校経営案に基づいた教育活動が行われ、教職員と児童・保護者・地域との関係が良好であることがうかがえる。学校が組織として、校長のリーダーシップのもと、取り組みを継続していき、さらなる教育活動の充実を目指したい。

そのために、否定的な回答やポイントの下がってきたもの、特に、教職員の多忙化の改善及び授業の更なる充実への取り組みをどうしていくかを考え、それを重点課題としていく。